

火災多発期です！火の用心！

STOP! 住宅火災

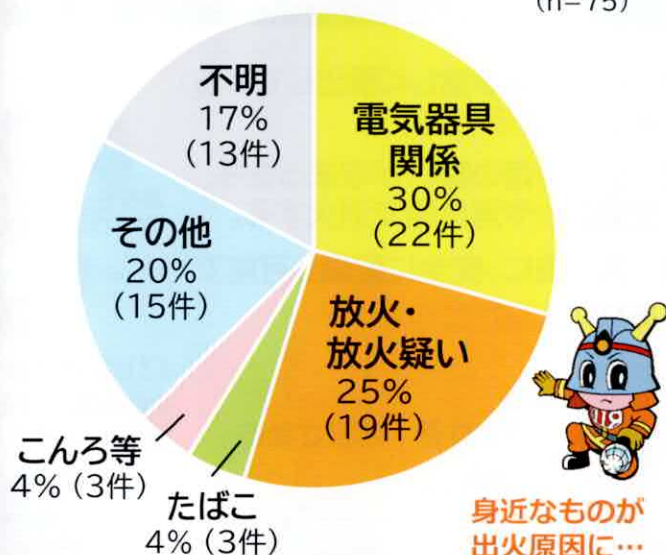
令和7年中 志村消防署管内 (12月15日時点)

※速報値

- 火災による**死者2名**発生
- 火災発生の総件数が昨年より**18件**増加
- うち住宅火災の件数が昨年より**1件**増加

令和6年中 志村消防署管内 出火原因の内訳

(n=75)



住宅火災で死者が発生しやすい原因



【ストーブ】

寝ている間に布団が
ストーブに接触して、
出火。

就寝時や外出時は
必ず消す！！



【たばこ】

飲酒⇒喫煙⇒うたた寝
知らぬ間に火種が落ち
て出火。

寝たばこ禁止！！
安全な場所で吸う。

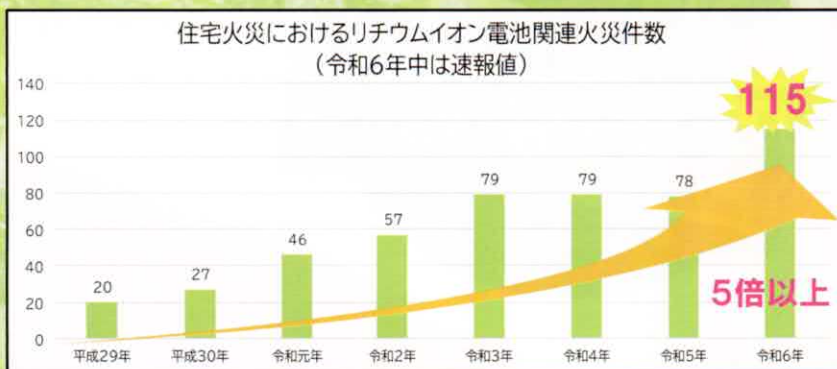


リチウムイオン電池 関連火災

近年、急増！取扱いに要注意

■ リチウムイオン電池関連火災とは、リチウムイオン電池を搭載した製品（差込みプラグ及び器具コードを除く）から出火した火災のことをいいます。

■ 近年急増しており、令和6年中は115件発生し過去最多となっています。



身近にあるリチウムイオン電池搭載製品



こんなときは危険 ⚠️ 今すぐチェック！

- ☐ 熱のこもりやすい場所で使用している
- ☐ 膨らみ、変形している
- ☐ 過去に落下させたことがある
- ☐ 充電中や使用中に発熱することがある
- ☐ 充電できないなどの不具合がある

一つでも当てはまる場合は火災の危険が・・・！

事事故例

- ① しりもちをついた際に、ズボンの後ろポケットに入れていた携帯電話から「シュー」という音がして、直後に火が出ました。
- ② 非純正のバッテリーを用いたコードレス掃除機を充電していたところ、火が出ました。

火災を防ぐ6つのポイント

- ① 製品に衝撃を与えない、むやみに分解しない。
- ② 整理整頓された場所で充電する。
- ③ 製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用する。
- ④ 膨張、充電できない、バッテリーの減りが早くなった、充電中に熱くなるなど異常がある場合は使用をやめ、製造業者や販売店に相談する。
- ⑤ 熱のこもりやすい場所での使用は控える。
- ⑥ 万が一の被害に備えて、不燃性のケースなどに収納する。

住宅用火災警報器を備えましょう

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して火災が発生したことをいち早く知らせてくれます。



🔥 万が一火災が発生したら 🔥

- ① 火花や煙が激しく噴出している場合は、**近寄らない!!**
- ② 火花や煙の勢いが収まったら、**大量の水**や消火器で消火する。
- ③ 消火後に、安全に配慮し可能であれば**水没させる**。



119番通報は安全な場所から通報しよう！

- Point 1 大量の水をかける Point 2 水没させる

